

優良基準尾全体像

1	遵法性	従前の産業廃棄物処理業の許可の有効期間又は当該有効期間を含む、連続する5年間のいずれか長い期間において特定不利益処分を受けていない事。
2	事業の 透明性	法人の基礎情報、取得した産業廃棄物処理業等の許可の内容、 産業廃棄物処理施設の能力や維持管理状況、産業廃棄物の処理状況等の情報を一定期間継続してインターネットを利用する方法により公表し かつ、所定の頻度で更新している事
3	環境配慮 の取組	ISO14001、エコアクション21等の認証制度による認証を受けている事
4	電子 マニフェスト	電子マニフェストシステムに加入しており、電子マニフェストが利用 可能である事
5	財務体質の 健全性	①直前3年の各事業年度における自己資本率が零以上である事。 ②次のイ又はロのいずれかの基準に該当する事。 イ、直前3年の各事業年度のうちいずれかの事業年度における 自己資本率が10パーセント以上である事。 ロ、全事業年度における営業利益金額等が零を超える事。 ③直前3年の各事業年度における経常利益金額等の平均値が 零を超える事。 ④産業廃棄物処理業等の実施に関する税、社会保険料及び労働 保険料について、滞納していない事。

【情報公表項目の全体像】

	公表項目	更新頻度	摘要	
			収集運搬	処分
①	【法人の場合】法人に関する基礎情報	変更の都度(代表者等の氏名等については一年に一回以上)	○	○
	【個人の場合】個人に関する基礎情報	変更の都度		
②	事業計画の概要	変更の都度	○	○
③	申請者が受けている産業廃棄物処理業の許可証の写し	変更の都度	○	○
④	運搬施設に関する事項	変更の都度(運搬施設の種類・数量については一年に一回以上)	○	
	処理施設に関する事項	変更の都度		○
⑤	事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図	変更の都度		○
⑥	直前一年間の産業廃棄物の一連の処理の工程	一年に一回以上		○
⑦	直前三年間の産業廃棄物の受入量・運搬量	一年に一回以上	○	○
	直前三年間の産業廃棄物の受入量・処分量 中間処理後産業廃棄物の処分量	一年に一回以上		
⑧	直前三年間の産業廃棄物処理施設の維持管理状況	一年に一回以上		○
⑨	直前三年間の産業廃棄物の焼却施設における熱回収実績	一年に一回以上		○
⑩	【法人の場合】直前三事業年度の財務表	少なくとも定時株主総会で承認を受け又は報告された都度	○	○
⑪	処理料金の提示方法	変更の都度	○	○
⑫	業務を所掌する組織・人員配置	変更の都度(人員配置については一年に一回)	○	○
⑬	処分後の産業廃棄物の持出先の開示の可否に関する事項	変更の都度		○
⑭	事業場の公開の有無・公開頻度	変更の都度	○	○

【法人に関する基礎情報】

2024年12月2日

名 称	有限会社 アリタサービス
事務所・事業場の所在地	本 社:福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号 事業所:福岡県北九州市八幡西区夕原町7-3
設立年月日	平成12年10月5日
資本金・出資金	1,000万円
代表者	代表取締役 有田 康宏
役員等	代表取締役 有田 康宏 (平成26年4月8日就任) 専務取締役 有田 郷志 (平成26年4月8日就任) 取締役 有田 敬一 (平成26年4月18日就任)
従業員数	44名
事業の内容	昭和55年 9月:北九州市下畑にて起業 平成12年 4月:北九州市一般廃棄物収集運搬業許可取得(個人) 平成12年10月:有限会社アリタサービス設立 平成13年 2月:北九州市一般廃棄物収集運搬業許可取得(法人) 平成16年11月:福岡県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成18年 9月:エコアクション21認証所得 平成23年 8月:山口県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成25年 2月:佐賀県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成25年 3月:熊本県産業廃棄物収集運搬業許可取得 平成26年 4月:代表取締役有田康宏就任 平成27年 5月:ゼロエミッションに取り組み廃プラスチック類のリサイクルシステムを構築 6月:北九州市産業廃棄物処分業許可取得 6月:皇后崎工場稼働 10月:業務拡張に伴い増トンパッカー車増車 平成28年 1月:業務拡張に伴い10t ウイング車導入 8月:資本金を1,000万に増資 平成29年 3月:業務拡張に伴い10t ウイング車増車 4月:福岡県経営革新企業認定 令和元年 9月:一般貨物運送事業許可取得 11月:福岡県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 令和2年 6月:山口県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 6月:北九州市産業廃棄物処分業許可優良認定取得 8月:北九州市認定産業廃棄物処理業者取得 8月:佐賀県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 12月:熊本県産業廃棄物収集運搬業許可優良認定取得 12月:広島県産業廃棄物収集運搬業許可取得 令和3年4月:福岡県八女市に食品リサイクル工場開設 4月:宮崎県産業廃棄物収集運搬業許可取得

事業の内容

令和3年5月:福岡県産業廃棄物処分業許可取得

6月:鹿児島県産業廃棄物収集運搬許可取得

7月:大分県産業廃棄物収集運搬業取得

11月:北九州SDGs登録制度に第一次登録

12月:エコフィード認証(yameFEED 3認証2号)

令和4年3月:八女工場に粉碎処理の設備を追加

4月:八幡西区下畑町に健康維持を目的とした福利厚生施設開設

8月:収集運搬量1万トン(年間)達成

11月:福岡県SDGs登録制度に第一次登録

令和5年1月:八女工場に太陽光発電設備設置

3月:八女工場粉碎処理設備を追加

7月:再生利用事業者登録

7月:ふくおか健康づくり団体事業所宣言登録

10月:安全衛生宣言公開

令和6年1月:ワンヘルス宣言事業者登録

9月:中小企業SBT承認取得

10月:北九州SDGs登録更新

福岡県「がん対策サポート企業」登録

【事業計画の概要】

2024年12月2日

1. 事業の全体計画

福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の各事業所及び食品等の製造工場より排出される産業廃棄物をキャブオーバー又は塵芥車を使用して収集し、北九州エコレム協同組合等に搬入する。

2. 取り扱う産業廃棄物種類及び運搬量

	産業廃棄物の種類	運搬量(t/月)	性状	予定排出事業所の名称及び所在地	積替保管について	予定運搬先の名所及び所在地(処分場の名称及び所在地)
1	紙くず	2t/月	固形	県内印刷工場	なし	株式会社西原商事 北九州市八幡西区陣原2-2-21
2	木くず	2t/月	固形	県内工事現場	なし	ホクザイ運輸株式会社 北九州市小倉北区西港町72-32
3	燃え殻	0.5t/月	固形	県内焼却炉 設置事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
4	がれき類	2t/月	固形	県内建築現場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
5	繊維くず	1t/月	固形	県内繊維工場 製造業	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
6	廃油	1.5t/月	液状	県内食品 製造加工工場	なし	(株)アサヒプリッテック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
7	汚泥	1t/月	液状	県内食品 製造加工工場	なし	喜楽鋳業株式会社 北九州市若松区響町1-64
8	動植物性残さ	100t/月	固形	県内食品 製造加工工場	なし	有限会社アリタサービス 八女工場 八女市鶴池413-1
9	廃プラスチック類	100t/月	固形	県内食品 製造加工工場	なし	有限会社アリタサービス 皇后崎工場 北九州市八幡西区皇后崎町15-8
10	金属くず	0/5t/月	固形	県内家電量販店	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
11	ガラス屑等	2t/月	固形	県内工事現場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
12	ゴムくず	0.5t/月	固形	県内ゴム工場	なし	(株)アサヒプリッテック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
13	鋳さい	0.5t/月	固形	県内鋳物工場	なし	ヤクシン開発株式会社 北九州市八幡西区大字野面168-1
14	ばいじん	0.5t/月	液状	県内焼却炉 設置事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
15	動物系固形 不要物	2t/月	固形	県内食肉屠畜場 食肉製造加工工場	なし	北九州エコレム協同組合 北九州市若松区響町1-12-5
16	廃酸	2t/月	液状	県内製薬 製造工場	なし	(株)アサヒプリッテック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
17	廃アルカリ	2t/月	液状	県内飲料 製造工場	なし	(株)アサヒプリッテック北九州工場 北九州市門司区新門司3-81-5
18	動物の死体	1t/月	固形	県内家畜事業所、	なし	北九州エコレム協同組合 北九州市若松区響町1-12-5
19	石綿含有 産業廃棄物	1t/月	固形	県内建設現場	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
20	水銀使用製品 産業廃棄物	0.5t/月	固形	県内事業所	なし	株式会社ジェイ・リライツ 北九州市若松区響町1-62-17
21	水銀含有 ばいじん等	0.5t/月	固形	県内事業所	なし	ひびき開発株式会社 北九州市若松区大字小竹地先
22	廃プラスチック類	13t/月	固形	県内食品 製造加工工場	なし	株式会社サニックス資源開発グループ広島工場 廿日市市峠245-58

事業計画の概要解説

事業計画の概要は、産業廃棄物処理業許可申請時の添付書類と同じ内容。
具体的には、「事業の全体計画」「収集運搬・処分する産業廃棄物の運搬量・処分量」「収集運搬・処分業務の具体的な計画、環境保全措置の概要」を公表する。
※情報の一般公開である事から、企業秘密に触れるような情報については省略

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）														その他							
都道府県及び 政令都市	積替 保管	許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の 所在地及び面積 許可の条件	
				有	無																				
福岡県	●	令和1年11月8日 令和8年11月7日	第04000074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
山口県	●	令和2年6月2日 令和9年6月1日	第03500074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
熊本県	●	令和2年12月4日 令和9年12月3日	第04305074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
佐賀県	●	令和2年8月17日 令和9年8月16日	第04101074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
宮崎県	●	令和3年4月28日 令和8年4月27日	第04101074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
鹿児島県	●	令和3年6月29日 令和8年6月28日	第04603074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
広島県	●	令和2年12月14日 令和7年12月13日	第03400074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
大分県	●	令和3年7月8日 令和8年7月7日	第04408074943	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管なし 許可の条件なし	
産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）														その他							
北九州市	×	令和2年6月8日 令和9年6月7日	第07620074943	廃プラスチック類														破砕	4.8t/日（8時間）						
福岡県	×	令和3年5月18日 令和8年5月17日	第07620074943	動植物性残渣														圧縮	16.9t/日（8時間）						
一般廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）														その他							
都道府県及び 政令都市	積替 保管	許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	A類		B類		D類		（浄化槽を清掃した 際に生じる汚泥に 限る）														積替保管施設の所在地及び 面積許可の条件	
				（ふん尿を除く一般 廃棄物）生ごみ・紙類 ・缶・びん・ペット ボトル等		（A類から生ごみを 除いたもの）																			
北九州市	●	令和5年 2月26日 令和7年 2月25日	北九一廃 第049号	●																				積替保管なし 許可の条件なし	



許可番号 第07620074943号

産業廃棄物処分業許可証

住 所 北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社 アリタサービス

（法人にあつては名称及び代表者の氏名） 代表取締役 有田 康宏

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

北九州市長 北 橋 健 治



許 可 の 年 月 日 令和 2年 6月 8日
許 可 の 有 効 年 月 日 令和 9年 6月 7日

1 事業の範囲

事業の区分

中間処理業（破砕、圧縮）

産業廃棄物の種類

破 砕 廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）
以上1種類（水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）
（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
圧 縮 廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）
以上1種類（水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）
（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

2 事業の用に供するすべての施設

施設の種類：破砕施設

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類 以上1種類
設置場所：北九州市八幡西区皇后崎町15番8
設置年月日：平成30年8月8日
処理能力：1日あたり4.8トン（8時間）

施設の種類：圧縮施設

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類 以上1種類
設置場所：北九州市八幡西区皇后崎町15番8
設置年月日：平成30年8月8日
処理能力：1日あたり16.9トン（8時間）

3 許可の条件

なし

4 許可の更新又は変更の状況

平成27年 6月 8日 新規許可
令和 2年 6月 8日 更新許可

5 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有

許可番号 04020074943

産業廃棄物処分業許可証

住 所 北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社アリタサービス
代表取締役 有田 康宏

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

福岡県知事 服部 誠太郎

許可の年月日 令和 3 年 5 月 18 日

許可の有効年月日 令和 8 年 5 月 17 日

1. 事業の範囲（処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に石棉含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。）を記載すること。）

中間処理（乾燥）：動植物性残さ 以上1品目

以下余白

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、施設場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。）を記載すること。）

乾燥施設：設 置 場 所 福岡県八女市鵜池字曲田413番

設置年月日 令和2年1月24日

処理能力 8.1t/日（8時間）

以下余白

3. 許可の条件

なし

4. 許可の更新又は変更の状況

なし

5. 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無

有 ・ 無

※更新手続については、有効期間満了日の60日前までに必ず管轄の南筑後保健福祉環境事務所で行ってください。

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社アリタサービス
代表取締役 有田 康宏

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

福岡県知事 小 川 洋



許可の年月日 令和 元年 11 月 8 日

許可の有効年月日 令和 8 年 11 月 7 日

1. 事業の範囲(取り扱う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。))及び積替え又は保管を行うかどうか明らかにすること。)

積替え、保管を含まない。

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については、自動車等破砕物を除く。)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物の死体、ばいじん(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む。)(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)(燃え殻、汚泥、鋳さい、ばいじんについては、水銀含有ばいじん等を含む。) 以上18品目 以下余白

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。)、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さなし

3. 許可の条件
なし

4. 許可の更新又は変更の状況

平成21年11月 8日 更新許可

平成22年 4月30日 変更許可により取扱品目(動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、ばいじん)の追加及び取扱品目(汚泥)の限定の解除

平成23年 7月 6日 変更許可により取扱品目(廃酸、廃アルカリ、動物の死体)の追加

平成26年11月 8日 更新許可

平成29年11月13日 変更届出により取扱品目(水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等)の明記

令和 元年11月 8日 更新許可 以下余白

5. 積替え許可の有無 有 ・ (無)
(積替え許可を有している場合には、市名及び許可番号を記載すること。)

市名 許可番号

以下余白

6. 規則第9条の2第6項の規定による許可証の提出の有無 有 ・ (無)

備考

市長が交付する許可証については、積替え許可の有無の記載は不要とすること。

※更新手続については、有効期間満了日の60日前までに必ず管轄の宗像・遠賀保健福祉環境事務所で行ってください。

許可番号 04408074943

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏名 有限会社アリタサービス

代表取締役 有田 康宏

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

大分県知事 広瀬 勝貞



許可の年月日 令和3年7月8日

許可の有効年月日 令和8年7月7日

1. 事業の範囲

事業の区分

収集運搬 積替え又は保管行為を含まない 以下余白

産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥（有機汚泥、無機汚泥を含む）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（廃容器包装を含み、自動車等破砕物、廃プリント配線板を含まない）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず（廃容器包装を含み、自動車等破砕物、廃プリント配線板、鉛蓄電池の電極であって不要物であるもの、鉛製の管又は板であって不要物であるものを含まない）、ガラスくず等（廃容器包装を含み、自動車等破砕物、廃ブラウン管（側面部に限る）、廃石膏ボードを含まない）、鉱さい、がれき類、動物の死体、ばいじん、動物系固形不要物

（以上18種類。ただし、特別管理産業廃棄物であるものを除く。個別の品目の取扱いは以下のとおり。
含む：石綿含有産業廃棄物 含まない：水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等）

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ（積替え又は保管を行う場合に限り。）

積替え又は保管行為を含まない。

3. 許可の条件

なし

4. 許可の更新又は変更の状況

令和3年7月8日 産業廃棄物収集運搬業許可

5. 積替え許可の有無

市名

有・☒ 無

許可番号

6. 規則第9条の2第8項の規定による許可証の提出の有無

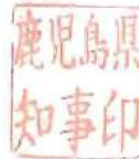
無

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号
氏 名 有限会社アリタサービス
(法人にあっては名称及び代表者の氏名) 代表取締役 有田康宏

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

鹿児島県知事 塩田 康一



許可の年月日 令和 3年 6月29日
許可の有効年月日 令和 8年 6月28日

1 事業の範囲

廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。）、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、鋳さい、ばいじん、紙くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、木くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、繊維くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物の死体

以上18種類（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）の収集及び運搬（積替え又は保管を除く。）

2 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ（積替え又は保管を行う場合に限る。）

なし

3 許可の条件

なし

4 許可の更新又は変更の状況

新規許可	令和3年6月29日
------	-----------

5 鹿児島市の積替え許可の有無

有・☒無

6 規則第9条の2第8項の規定による許可証の提出の有無

有・☒無



許可番号 第03500074943号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号
氏 名 有限会社アリタサービス
代表取締役 有田 康宏



廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条第1項 の許可を受けた者であることを証する。

山口県知事 村岡 嗣 政



許可の年月日

令和 2 年 6 月 2 日

許可の有効年月日

令和 9 年 6 月 1 日

1. 事業の範囲

(1) 産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)、陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、鉱さい、がれき類、動物の死体、ばいじん
(これらは、石棉含有産業廃棄物であるものを含み、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
以上15種類

(2) 事業の区分

積替え又は保管を除く。

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

3. 許可の条件

4. 許可の更新又は変更の状況

令和 2 年 6 月 2 日 更新許可

5. 積替え許可の有無

無

6. 規則第9条の2第6項の規定による許可証の提出の有無

有

許可番号 04101074943

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社アリタサービス
代表取締役 有田 康宏

優
良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

佐賀県知事 山口 祥義

許可の年月日 令和2年（2020年）8月17日
許可の有効年月日 令和9年（2027年）8月16日



1. 事業の範囲

収集運搬業（積替え・保管行為を含まない）

産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形
不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物の死体及びばいじん並びに廃プラスチック類、金属く
ず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）

以上18種類（石棉含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を
行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ
なし

3. 許可の条件

なし

4. 許可の更新又は変更の状況

令和 2年 8月17日 更新許可 優良基準適合 以下余白

5. 積替え許可の有無

余白

6. 規則第9条の2第6項の規定による許可証の提出の有無

無

許可番号 第03400074943号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号
氏名 有限会社 アシタサービス
代表取締役 有田 康宏

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

広島県知事 湯崎 英彦



許可の年月日 令和2年12月14日
許可の有効年月日 令和7年12月13日

1. 事業の範囲

事業の区分

収集運搬（積替え・保管は含まない。）

産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）、陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物の死体及びばいじん（これらのうち廃プリント配線板、廃石膏ボード、廃容器包装及び石棉含有産業廃棄物を含み、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以下余白

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

3. 許可の条件

4. 許可の更新又は変更の状況

5. 積替え許可の有無 無
市名 ー 許可番号 ー

6. 規則第9条の2第8項の規定による許可証の提出の有無 無

備考 市長が交付する許可証については、積替え許可の有無の記載は不要とすること。

許可番号 第04305074943号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社アリタサービス
代表取締役 有田 康宏

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

熊本県知事 蒲島 郁夫

許可の年月日 令和 2 年 12 月 4 日
(2020 年)許可の有効年月日 令和 9 年 12 月 3 日
(2027 年)

1. 事業の範囲

取り扱う産業廃棄物の種類	(積替え及び保管行為を含まない)		
	石綿含有 産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物	水銀含有 ばいじん等
紙くず	○	—	—
木くず	○	—	—
繊維くず	○	—	—
動植物性残さ	—	—	—
ゴムくず	—	—	—
金属くず	—	—	—
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	○	—	—
鉱さい	—	—	—
がれき類	○	—	—
動物の死体	—	—	—
ばいじん	—	—	—
燃え殻	—	—	—
汚泥	—	—	—
廃油	—	—	—
廃酸	—	—	—
廃アルカリ	—	—	—
廃プラスチック類	○	—	—
動物系固形不燃物	—	—	—

上記のうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等の欄に「○」印があるものについては取扱いを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。以下余白

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。）、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ 「無」

3. 許可の条件

- (1) 熊本県産業廃棄物指導要綱を遵守すること。
(2) 熊本県が実施するマニフェストを適切に使用すること。

(裏面に続く。)

許可番号 第04509074943号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 福岡県北九州市八幡西区下畑町4番21号

氏 名 有限会社 アリタサービス 代表取締役 有田 康宏
(法人にあっては名称及び代表者氏名)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

宮崎県知事 河野 俊嗣



許可の年月日 令和3年4月28日

許可の有効年月日 令和8年4月27日

1. 事業の範囲

積替え・保管の有無 なし

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、木くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、繊維くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、動物の死体、ばいじん
以上18種類でこれらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。
以下余白

2. 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとの積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。）、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

なし

3. 許可の条件 なし

4. 許可の更新又は変更の状況 裏面のとおり

5. 積替え許可の有無 有・☒無

6. 規則第9条の2第8項の規定による許可証の提出の有無 有・☒無

【施設等の状況】

2024年12月2日

【収集運搬車輛一覧】

車輛型式	登録番号	最大積載量 (Kg)	積載可能寸法 長さ×幅×高さcm	排ガスレベル
塵芥車	北九州830さ2828	1,750	699×220×268	H30年規制適合車/排出ガス75%低減車
塵芥車	北九州830す378	1,950	663×222×261	H30年規制適合車/排出ガス75%低減車
塵芥車	北九州830せ3838	1,950	709×220×267	H30年規制適合車/排出ガス25%低減車
塵芥車	北九州830さ588	3,800	756×220×274	H30年規制適合車/排出ガス25%低減車
塵芥車	北九州830す2568	3,800	734×223×274	H28年規制適合車
塵芥車	北九州830す388	3,950	742×227×275	H30年規制適合車/排出ガス25%低減車
塵芥車	北九州830さ288	4,100	719×222×278	H28年規制適合車
塵芥車	北九州830そ1828	5,600	831×227×280	H28年規制適合車
キャブオーバー	北九州483さ1000	350	339×147×179	平成19年基準適合
脱着装置付 コンテナ専用車	北九州130さ3568	7,900	628×231×249	H28年規制適合車
脱着装置付 コンテナ専用車	北九州130せ188	8,000	627×227×249	H28年規制適合車
バン	久留米130た1158	2,450	865×249×348	H28年規制適合車
バン	北九州130む18	12,200	1,190×249×379	
バン	北九州130ふ38	12,600	1,188×249×379	H21年規制適合/排出ガス10%低減車
バン	北九州130ち28	12,900	1,195×249×378	H21年規制適合/排出ガス10%低減車
バン	北九州131さ6	12,100	1,195×249×378	H21年規制適合車/排出ガス10%低減車
バン	北九州102た5	13,500	1,196×250×379	平成21年規制適合車
バン	北九州105す1	13,800	1,195×249×377	H28年規制適合車
バン	北九州130な58	13,000	1,196×249×379	H28年規制適合車
バンセミトレーラー	北九州130せ1557	27,000	1,291×249×319	H17年規制適合車/PM10%低減重量車
トラクタ	北九州130さ558	38,430	565×249×318	H21年規制適合車/排出ガス10%低減車

【積み替え保管施設】

積み替え保管施設は無い

【破砕処理施設】

☐破砕 4.8t/日(8時間)

☐圧縮 16.9t/日(8時間)

【乾燥処理施設】

☐乾燥 8.1t/日(8時間)

22期 (2021年10月～2022年9月) 産業廃棄物収集運搬量・受入量 (単位: kg)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
廃プラスチック類	305,636	357,323	345,632	276,364	266,366	305,810	292,875	289,691	280,888	281,475	256,174	269,266	3,527,504
動植物性残渣	723,270	734,330	453,800	404,050	397,730	448,860	435,470	368,505	352,480	354,285	350,600	375,140	5,388,520
動物の死体	15,780	17,280	20,920	17,320	18,030	27,250	23,180	0	0	5,890	6,390	6,160	158,200
汚泥	106,530	130,050	110,910	82,520	116,850	135,740	123,750	122,150	117,880	98,010	95,500	101,150	1,341,040
混合廃棄物	9,330	5,890	5,340	5,880	3,930	6,550	6,990	5,850	9,570	2,020	10,550	4,720	76,620
木くず	0	1,950	0	0	0	0	0	1,900	0	0	0	0	3,850
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	130	0	0	0	300	0	430
がれき類	10,960	8,640	9,620	9,870	11,070	11,110	11,140	9,130	9,200	8,760	16,590	5,280	121,370
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,580	1,580
燃え殻	82,540	84,460	143,640	29,210	146,390	16,150	54,340	51,900	26,220	27,580	28,700	28,150	719,280
合計	1,254,048	1,339,923	1,089,862	825,214	960,366	951,470	947,875	849,126	796,238	778,020	764,804	791,448	11,348,394
受入量	1,254,048	1,339,923	1,089,862	825,214	960,366	951,470	947,875	849,126	796,238	778,020	764,804	791,448	11,348,394

※運搬方法は全て車両による。 ※受入量と運搬量は同数です。

23期 (2022年10月～2023年9月) 産業廃棄物収集運搬量・受入量 (単位: kg)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
廃プラスチック類	235,517	240,313	245,139	212,111	220,998	246,304	212,834	221,884	262,041	242,440	271,468	245,796	2,856,845
動植物性残渣	274,790	261,770	290,229	269,330	261,440	281,510	277,130	268,190	277,290	386,540	345,930	307,230	3,501,379
動物の死体	9,650	6,580	9,890	7,140	631	5,430	10,090	712	6,200	6,100	7,020	10,510	79,953
汚泥	116,780	100,540	124,630	98,140	124,830	137,530	111,680	102,370	166,580	128,250	112,570	73,230	1,397,130
混合廃棄物	4,250	3,870	2,760	3,170	5,690	11,740	7,920	6,890	7,210	2,200	3,545	7,770	67,015
木くず	0	0	0	0	2,450	0	0	530	0	0	0	0	2,980
金属くず	270	0	0	180	100	100	0	0	0	308	0	0	1,298
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	15,430	13,860	4,070	14,460	4,960	810	0	3,280	26	0	0	0	55,896
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	51,670	26,540	53,090	26,600	27,710	26,860	276,250	28,190	29,210	57,860	0	26,350	630,330
合計	708,357	653,473	729,808	631,131	648,809	710,284	895,904	632,045	748,557	823,698	740,533	671,226	8,583,826
受入量	708,357	653,473	729,808	631,131	648,809	710,284	895,904	632,045	748,557	823,698	740,533	671,226	8,583,826

※運搬方法は全て車両による。 ※受入量と運搬量は同数です。

24期 (2023年10月～2024年9月) 産業廃棄物収集運搬量・受入量 (単位: kg)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
廃プラスチック類	248,931	259,767	216,751	207,399	205,153	216,581	206,111	199,637	220,666	197,982	211,451	186,904	2,577,333
動植物性残渣	310,770	317,340	317,619	278,060	278,400	305,100	322,959	289,330	324,000	334,240	462,220	325,730	3,975,748
動物の死体	9,650	6,820	10,980	6,780	7,560	14,380	6,080	6,750	6,620	6,440	6,790	10,220	99,070
汚泥	133,940	56,940	95,220	56,190	98,000	67,150	66,800	45,140	92,420	50,880	114,410	84,940	991,930
混合廃棄物	2,570	2,500	3,230	6,110	2,530	1,310	1,760	3,850	1,950	2,250	3,810	49,730	81,600
木くず	0	750	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	750
金属くず	130	0	220	6,400	170	60	100	0	170	0	3,630	310	11,190
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	26,500	27,080	0	0	51,830	71,300	0	0	25,960	26,750	26,980	256,400
合計	705,946	730,517	671,130	560,939	591,813	656,411	675,110	544,707	645,826	617,752	829,061	684,814	7,914,026
受入量	705,946	730,517	671,130	560,939	591,813	656,411	675,110	544,707	645,826	617,752	829,061	684,814	7,914,026

※運搬方法は全て車両による。 ※受入量と運搬量は同数です。

【第22期財務諸表】

自 2021年10月1日
至 2022年9月30日

【貸借対照表】

資産の部		負債の部	
流動資産	197,659	流動負債	85,826
		固定負債	384,450
		負債合計	470,276
固定資産	308,522	純資産の部	
有形固定資産	271,908	資本金	10,000
		利益剰余金	25,904
投資その他の資産	36,376	純資産合計	35,904
資産合計	506,181	負債・純資産合計	506,181

【損益計算書】

(単位:千円)	
売上高	736,851
売上原価	329,795
売上総利益	407,056
販売費・一般管理費	382,301
営業利益	24,755
営業外収益	18,254
営業外費用	3,886
経常利益	39,123
特別利益	0
特別損失	14,687
税引前当期純利益	24,437
法人税・住民税・事業税	3,550
当期純利益	20,887

【今期反省】

PLに関しては売上高、売上総利益ともに前年比22ポイントのアップができたが、世界情勢にからむ電気・燃料費の高騰にともない販管費も19ポイント上がってしまった。
結果としては、営業利益89ポイントアップ、経常利益に至っては前年の倍となり当期純利益も20ポイントアップする事ができ、業績としては順調に進捗している。
この結果に甘んじることなく、来期は年商10億達成に向けた準備期間とし更に気を引き締め取り組む所存である。

BS面は、資産が前年比で2ポイントダウンし、負債も6ポイントダウンした。
利益剰余金は、大幅な改善ができたと思っているが前期に掲げた目標である自己資本比率のアップは4ポイントのアップに留まった、飼料工場の生産性向上を目的で前期とほぼ同等の投資を実施した影響とみている。
今後も前向きな投資をする考えは変わらないが、全体のバランス考慮するよう心掛ける事とする。

【来期目標】

20期から始めた長期経営計画からすると、今期実績は24期の計画に近く計画自体を上方修正し、本来25期の目標であった830,000千円とし、年商10億達成の準備期間と位置づけ、社内体制の強化・人材育成強化・企業理念を全社員に周知徹底する年とする。

【第23期財務諸表】

自 2022年10月1日
至 2023年9月30日

【貸借対照表】

資産の部		負債の部	
流動資産	158,902	流動負債	75,784
		固定負債	319,235
		負債合計	395,019
固定資産	299,043	純資産の部	
有形固定資産	259,345	資本金	10,000
		利益剰余金	52,927
投資その他の資産	38,279	純資産合計	62,926
資産合計	457,945	負債・純資産合計	457,945

【損益計算書】

(単位:千円)		
売上高	716,071	736,851
売上原価	296,107	329,795
売上総利益	419,964	407,056
販売費・一般管理費	372,611	382,301
営業利益	47,353	24,755
営業外収益	24,828	18,254
営業外費用	3,214	3,886
経常利益	68,967	39,123
特別利益	50	0
特別損失	29,864	14,687
税引前当期純利益	39,153	24,437
法人税・住民税・事業税	12,130	3,550
当期純利益	27,022	20,887

【今期反省】

PLに関し、売上高が3ポイント下がり前年割れとなったが、既存取引先での不慮の事故(火災)により取引再開迄に1年を要した事が主因でありこの売り上げがあったとすれば前年割れとはなっていない。効率を考慮した工場運営と収集運搬業務のコース改革を実施した事で売上原価は3ポイント下がり、販管費も2ポイントのアップに留める事が出来た、結果として営業利益は倍となり当期純利益は29ポイントアップする事が出来た。

理由はともあれ、23期決算は減収増益の結果であり増収できなかった事も事実であり、今後は不慮の事故起きても対処できる適応能力を高める事と体力強化が必須と実感している。

BS面では資産が10ポイント、負債は17ポイントともにダウンした。

利益剰余金をほぼ倍確保できたことで純資産も大幅にアップする事ができ目標としていた自己資本比率は10%に3ポイント上乗せし達成する事が出来た。

今後も前向きな投資は積極的に行っていく所存であるが優良認定基準の自己資本比率の10%以上は常に維持するように財務体制の強化が課題と考えている。

【来期目標】

売上高は前期目標とした8億3千万とし以下の項目を実施する事とする。

①組織体制の強化:社員教育は階層別に、外部研修への派遣と社内での研修を実施し必要に応じて外部からの要員も採用し全社員のレベルアップを図る。

②安全衛生宣言:災害事故ゼロに向け発信した安全衛生宣言に沿った行動規範の徹底

③業務改善の進化:工場内作業及び収集業務の効率アップ改善を前提としたPDCAの実践

④評価制度の定着:今期より実施した評価制度の基準をアップし昇給・昇格・賞与に連動させ社員全員がやるべき事は何か不足しているのかを理解し切磋琢磨できる職場環境を整える。

上記目標を達成し社員は無論その家族までが「良い会社」に勤めていると自信持って言える会社となるよう邁進する

【第24期財務諸表】

自 2023年10月1日
至 2024年9月30日

【貸借対照表】

資産の部		負債の部	
流動資産	230,434	流動負債	223,057
		固定負債	291,621
		負債合計	514,678
固定資産	384,339	純資産の部	
有形固定資産	336,944	資本金	10,000
		利益剰余金	90,095
投資その他の資産	46,335	純資産合計	100,095
資産合計	614,773	負債・純資産合計	614,773

【損益計算書】

(単位:千円)	
売上高	736,647
売上原価	293,919
売上総利益	442,728
販売費・一般管理費	390,742
営業利益	51,986
営業外収益	6,903
営業外費用	4,014
経常利益	54,875
特別利益	1,100
特別損失	4,847
税引前当期純利益	51,128
法人税・住民税・事業税	13,960
当期純利益	37,168

【今期反省】

PLについては、前期目標とした8億3千万に到達する事は出来ず、3ポイントのアップに留まってしまった。売上原価が下がり売上総利益が5ポイント上がった結果として営業利益のアップに繋がった。最終的に純利益は38ポイント上げる事が出来、以前から宣言していた「儲ければ社員に還元する」と言う私の思いを決算賞与と言う形で全社員に支給する事が実現でき、社員のモチベーションアップに繋がったと感じており今後も同様に実施できるようにしたい。

前期掲げた4つの実施項目について

- ①組織体制の強化: 宣言通り外部より管理者を採用し八女・本社に配置し不測の事態に対処できた。外部での教育も取り入れ社員のレベルアップを図り更なる組織強化に努める。
- ②安全衛生宣言: 毎月初めに管理者メンバーで安全衛生会議を実施しコミットの周知徹底に努めた結果、工場での災害事故は発生していないが小さな交通事故は発生しており厳密にはゼロとは言えない。来期は車両事故撲滅に努め全ての面で災害事故ゼロを達成する。
- ③業務改善の進化: 長年のテーマであったコース別のマニュアル作成で大幅な業務改善が実施出来た。業務マニュアルの精度を上げ誰もが簡単に仕事が熟せる体制を整える。
- ④評価制度の定着: 年二回の考課表に基づくヒアリングで、少なからず管理者と一般職のギャップを埋める事ができている、今後は考課項目を見直し一段階上を目指す。

BS面は、八女工場への投資で負債が増えているが資産も同様に増えており、テーマとした自己資本率アップは達成できた。今後も無駄な投資はやらず、攻めの投資は継続する事を基本と考えている。とは言え、成長性の面では伸ばす事ができているが収益性や安定性を図る指標はまだまだ低く安定とは言えない数値となっている、今後は財務体質の強化が重要なテーマと考えている。

【来期目標】

来期については売上高8億、八女第二工場の稼働に伴い新規取引先の獲得を重要課題とし財務体質の改善に努め、全社売り10億の基礎となる年度にする。

21期比較株主資本等変動計算書

自: 2020年10月1日
至: 2021年 9月30日

	株主資本						評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計				
当期首残高	10,000	資本準備金	利益剰余金		△2,412				△2,412
当期変動額		資本剰余金	利益剰余金		17,429				17,429
当期純利益		他資本剰余金	他利益剰余金		17,429				17,429
当期変動額合計					15,017				15,017
当期末残高	10,000								

21期比較株主資本等変動計算書(内訳)

(単位: 千円)

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	△12,412	△12,412
当期変動額	17,429	17,429
当期純利益	17,429	17,429
当期変動額合計	5,017	5,017
当期末残高		

22期比較株主資本等変動計算書

自: 2021年10月1日
至: 2022年 9月30日

	株主資本							新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	他資本剰余金	利益剰余金 利益準備金	他利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	
前々期末残高	10,000				△12,412		△12,412		△12,412
前期変動額									
当期純利益					17,429		17,429		17,429
前期変動額合計					17,429		17,429		17,429
前期末残高	10000				5,017		5,017		5,017
当期変動額									
当期純利益					20,887		20,887		20,887
当期変動額合計					20,887		20,887		20,887
当期末残高	10,000				25,904		35,904		35,904

(単位: 千円)

22期比較株主資本等変動計算書(内訳)

	利益剰余金の内訳	
	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
前々期末残高	△12,412	△12,412
前期変動額		
当期純利益	17,429	17,429
前期変動額合計	17,429	17,429
前期末残高	5,017	5,017
当期変動額		
当期純利益	20,887	20,887
当期変動額合計	20,887	20,887
当期末残高	25,904	25,904

23期株主資本等変動計算書

自:2022年10月1日
至:2023年 9月30日

I 株主資本

1. 資本金

当期首残高
当期変動額
当期末残高

前期額(千円)	決算額(千円)
10,000	10,000
0	0
100,000	10,000

2. 利益剰余金

(1) その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高
当期変動額
当期純利益
当期末残高

5,017	25,904
20,887	27,023
25,904	52,927

その他利益剰余金合計

当期首残高
当期変動額
当期純利益
当期末残高

5,017	25,904
20,887	27,023
25,904	52,927

株主資本合計

当期首残高
当期変動額
当期純利益
当期末残高

15,017	35,904
20,887	27,022
35,904	62,927

II 評価・換算差額等

当期首残高
当期変動額
当期末残高

0	0
0	0
0	0

III 新株予約権

当期首残高
当期変動額
当期末残高

0	0
0	0
0	0

純資産の部合計

当期首残高
当期変動額
当期純利益
当期末残高

15,017	35,904
20,887	27,022
35,904	62,927

24期株主資本等変動計算書

自:2023年10月1日
至:2024年 9月30日

I 株主資本			
1. 資本金			
当期首残高	前期額(千円)	決算額(千円)	
当期変動額	10,000	10,000	
当期末残高	0	0	
2. 利益剰余金	10,000	10,000	
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
当期首残高	25,904	52,927	
当期変動額			
当期純利益	27,023	37,168	
当期末残高	52,927	90,095	
株主資本合計			
当期首残高	35,904	62,927	
当期変動額			
当期末残高	62,927	100,095	
II 評価・換算差額等			
当期首残高	0	0	
当期変動額	0	0	
当期末残高	0	0	
III 新株予約権			
当期首残高	0	0	
当期変動額	0	0	
当期末残高	0	0	
純資産の部合計			
当期首残高	35,904	62,927	
当期変動額			
当期純利益	27,022	37,168	
当期末残高	62,927	100,095	

個 別 注 記 表(22期)

有限会社 アリタサービス

自:2021年10月 1日

至:2022年 9月30日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」に沿って作成しています。

1. 継続企業の前提に関する注記

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……最終仕入原価法による原価法

商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産除く)

定率法又は、旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
旧定額法、平成19年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、
定額法、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、
定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産……定額法又は、旧定額法を採用しております。

(3) リース資産……リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を 採用しております。

収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成の為の基本となる重要な項目

消費税等の会計処理

税抜き方式で計上している。

3. 貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

277,666,823円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数

200株

5. 一株当たり情報に関する注記

一株当たりの純資産額 179,520円 65銭

一株当たりの当期純利益金額 104,434円 02銭

個 別 注 記 表(23期)

有限会社 アリタサービス

自:2022年10月 1日

至:2023年 9月30日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」に沿って作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については旧定額法、平成19年

4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した
建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)リース資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を
計上しております。

4. 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

325,167,207円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

200株

5. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、314,632.50円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、135,111.86円であります。

以上

個 別 注 記 表(24期)

有限会社 アリタサービス

自:2023年10月 1日

至:2024年 9月30日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1. 継続企業の前提に関する注記

2. 重要な会社方針に係る事項に関する注記

(1)資産の評価基準及び評価方法

①棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品・・・最終仕入れ原価法による原価法

商品・貯蔵品・・・・・・・最終仕入れ原価法による原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)については旧定額法

平成19年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)については定額法、平成28年

4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法を採用しております。

②無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

③リース資産

リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

(3)引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(4)その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

371,186,803円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1)当該事業年度の末日における発行株数の数

200株

5. 1株当たり情報に関する注記

一株当たりの純資産額

500,472円96銭

一株当たりの当期純利益額

185,840円46銭

以上

【処理料金の提示方法】

2024年12月2日

■料金の提示方法

収集運搬を行う現場の状況や、環境が異なる事や、収集運搬する品目が異なる事から、一律料金ではなく、その都度見積もりすることで対応しております。

■料金表・料金算定式

収集運搬料金につきましては、種類・数量・収集運搬にかかる距離や現場で必要と考えられる人員等に応じて算出し料金表を提出させていただきます。

■お問合せ

TEL093-641-0368

専門知識豊富な営業スタッフがお伺いさせていただきます。
廃棄物の事なら何でもお問合せ下さい。

アリタサービス組織図・人員配置

令和6年12月1日現在

